

概要

二地域居住者と受け入れ地域のニーズをマッチングさせる特定居住支援法人によるモデル的な取組を支援。



①北海道上川町、(一社) カミカワミライデザイン、インパクトサークル (株)

二地域居住者不在期間に着目し、住民とのすれ違いを未然に防ぐため、不在の間の困りごとを地域のお互い様で支える、特定居住支援法人の事業スキームを検討

②北海道美瑛町、(一社) 丘のゆりかご

疎遠になっている地縁者が、二地域居住者として地域貢献するモデルを「Wターン」とし、継続的関わりの仕組み、緊密格差解消に資する二地域居住モデルを確立

③岩手県奥州市、プライマル (株)

奥州市ゆかりの域外地縁者と地場事業者・住民との、生業と担い手マッチング成立条件を明らかにし、支援法人の機能の可能性を検証

④茨城県笠間市、(株) マイファーム

クラインガルデンを利用する都市住民が、地域と関係を築き、継続的な地域参加を経て、二地域居住を検討するまでの過程で、支援法人が果たすべき中間支援機能を整理・検証

⑤静岡県三島市・長泉町・沼津市、神奈川県箱根町、合同会社うさぎ企画 ほか

首都圏在住または三島に移住したシニア社員対象に、「三島で社長になろう！」(事業承継セミナー) 開催し、三島信用金庫や企業との対話、信金が運営する「三島の人事部」により、二地域居住者の定着を目指す。

⑥大阪府岸和田市、(一社) 古民家再生協会南大阪 ほか

農作業や祭礼、古民家保全等のため、地域が必要とする人材、技能、受け入れ条件等を「年間関わりしろカレンダー」・「関わりしろカルテ」として可視化し、古民家等に関心の高い都市住民との効果的マッチングのモデル構築

⑦岡山県井原市、(一社) 全国空き家アドバイザー協議会岡山県井原支部

「住まい」支援に特化してきた空き家アドバイザー協議会支部が、役割を「なりわい」に拡張。二地域居住希望者の「スキル・時間・関心」と、地域の「担い手不足のなりわい」のマッチング機能構築・実証を目指す。

⑧熊本県苓北町、(一社) メタバース九州z

都市側・地域側のニーズを見える化し、結びつけるコミュニティマネージャーの役割定義し、育成プログラム設計。併せて、地域資源を整理。福岡地区で空き家の状況を把握、相談窓口を設け、料金・会員制度等を作成

2次公募：8 件採択 (採択額約0.26億円)